

文久三年十二月十日より文久三年十二月十三日まで

P8311063 right

甲州微恙(\*)に名を托し本日の引合は相延、明日第九時を約し候、甲州旅館へ賀紀両員入本、亜ミニストル一面済にて来り候趣に付、豫州共々参会、御用筋相談いたす、本、半過亜長書翰返翰、御用状にて差越す、今朝ブレッキマン引合度旨申聞候に付、面晤の處、酒税減方使勤、旅費為替手続の談判俟申し、太郎痘瘡の信有し  
十一日未 晴

昨夕より豫州合宿相成、然る處、□其外とも諸事不都合に付、本日令□の方へ転宿、運上、所出懸け甲州方へ立より、本日引合筋相談いたし第九時より豫州共々、紀州金吾一同亜コンシユル、私宅へ行きミニストルへ再会いたし處、暴言而已(のみ)にて談判□差纏(もつ)れ候間、半途にて引上げ

午下より甲紀両員□、■【文字判読不可】■方の義のみの談判に行く然處、遂に談判筋弁論に移り是又

同様取纏り不申、本七時過引取種々相談および第十時頃、金港旅亭へ引取

P8311063 left

十二日申 晴 陰漸晴

朝第七時半豫州■【文字判読不可】■立午下第一時田安仮御殿へ出纏々建白、亜エントレボット約書調印

瑞西(\*)仮条約調印の一葛藤有し旨を建言す、薄晩過退出、太郎痘瘡に付、過日より牛姑看病として宿泊しおり、見舞品(重詰)を贈られし旨、阪街(坂町)よりも同断同品贈られ、内山より同断、藤山より

同断(鉛と霜糖)□助方より□菓子一折、伊助方より同断同品、黄窪てつ、日見舞として来りし旨須崎(常)

を招き、宿岡養子の儀に付、内に申談遣し旨、黄窪阪街へ無沙汰尋問の使遣せし旨、宿岡定寒見舞に來り菓筥、茶箱入を贈られし旨、富沢(大)是迄の謝として来り鮭二尺を贈られし旨

渋谷(邦)  
玄齋迄来る挙動狂に近かりし旨也

十三日酉

昨本半 金川方同心乗物にて甲州より筑豆兩人宛一書太左衛門よりエンテレボット書類一綴一書

\*1:微恙(びよう) 軽い病氣

\*2:瑞西、ス、イン

( )内は細字双行(一行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【文字判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。